

# 世界諸国の高等職業教育の展開に関する考察

— 学士課程段階の高等職業教育の提供状況の整理を試みて —

張 潔麗

## 1. はじめに

高等教育の規模拡大が世界的な流れとなってきたなかで、高等教育分野の教育内容や機関類型の多様化傾向もみられる。そのなかで、21世紀に入って以降、先進諸国では教育と経済発展が結びつけられるようになり、より高度な知識と技能を有する専門人材を育成するため、高等職業教育が重要視され、それを提供する高等職業教育機関の増加傾向が生じている<sup>1</sup>。こうした職業教育の高度化傾向のなかには、短期の高等教育プログラムとして展開してきた高等職業教育の学士課程化動向が顕著である。例えば、日本では、高等職業教育を提供する専門職大学という新型の高等教育機関の類型が半世紀ぶりに新設された<sup>2</sup>。同時に、中華人民共和国（以下、中国）でも、日本と同時期に学士課程段階の高等職業教育の重要性が検討されて、応用技術型大学と職業技術型大学という新型の高等職業教育機関が複数提起され、2015年、2019年からそれぞれの改革がなされてきた<sup>3</sup>。

この3種類の高等職業教育機関の設置過程をみると、それぞれ新設、既存の四年制の学術型大学からの転換、そして短期の高等職業教育機関からの昇格という異なる方法がみられる。高等教育段階の職業教育主義が世界的にみられるなかで、このような学士課程段階の高等職業教育は、どのように展開してきており、今後はどのような展開方法を取りうるのか。この問いを解明するためには、まず、学士課程段階のものを含めた高等職業教育がどのように提供されているのかという背景状況を整理し、その全体像を把握する必要がある。

第2章で詳述するように、学士課程段階の高等職業教育を提供する機関または関連学位は世界諸国においてみられるものの、高等職業教育の展開現状に関する研究では、ヨーロッパ諸国に着目するものが数多くみられる。そのなかで、アジア地域を含めた国際比較の不在が課題であると指摘されるものに加えて、国際比較に必要な高等職業教育の明確な定義が存在していない課題を明記するものも挙げられる<sup>4</sup>。一方で、学士課程段階の高等職業教育を提供するまたは検討するという改革動向が活発になってきている現在、こうした国際比較の実行も可能になってきた。

そこで、本稿では関連の先行研究及びデータベースをもとに、アジア諸国も視野に取り入れた世界諸国の高等職業教育の展開状況を整理し、その傾向を明らかにすることを目的とする。この作業は、アジア地域も対象とする高等職業教育の国際的な展開状況を網羅的に捉えて、その展開可能性に実証的データを提供できる点とともに、国際的通用性ある高等職業教育の定義

づけの土台となりうる点に学術的意義がある。加えて、高等職業教育を含めた高等教育の展開現状に関する国際的な相互理解を深める点に社会的意義もあるといえよう。

本稿では具体的に、従来ある高等職業教育の分析においてはどのような視点及び傾向があり、そして 2024 年現在では高等職業教育プログラムがどのように展開しているのかという二つのステップに分けて整理することとする。具体的な分析対象には、先行研究のほか、国際組織による関連データ、そして関連国家の教育部等の政府部門による説明、情報等もある。そのなかで、国際組織による関連データとしては、OECD (Organisation for Economic Co-operation and Development、経済協力開発機構、以下 OECD) とユネスコ (United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization、国際連合教育科学文化機関、以下ユネスコ) のものに注目する。前者の OECD は OECD 諸国を中心に、高等教育段階の職業教育の制度設計、アクセス、財政的投入、教員等の教学組織を整理し報告している<sup>5</sup>。後者のユネスコは IAU (International Association of Universities、国際大学協会、以下 IAU) とともに、世界諸国の高等教育システムの情報を整理し、各国から提供された情報をデータベース (World Higher Education Database [WHED] : <https://www.whed.net/home.php>) に公開している。こうした国際組織によるデータから高等教育段階の職業教育に関する情報、とりわけアジア地域諸国の当該プログラムの関連情報を絞り出すことによって、高等職業教育の国際的な展開状況を把握できると考えられる。加えて、関連国家の政府部門による情報源には上述のユネスコによるデータベースから確認できるものもあるため、これらは先行研究と同様、インターネットからアクセスできる。

上記の点を整理するため、本稿では、まず、第 2 章で関連の先行研究を日本国内外のものに分けて、学士課程段階の高等職業教育を整理する際の視点においてはどのような日本国内外での相違点または特徴があるのかを整理する。続いて、第 3 章では上記のユネスコによるデータベースで公開されているデータをもとに、世界諸国における高等職業教育の展開状況の整理及びその類型化を図る。その際はとりわけ、学士課程段階の高等職業教育を主として提供する機関の有無に着目して整理を行う。さらに、第 4 章ではそれまでの議論から得られる知見をふまえて、学士課程段階の部分を中心として、高等職業教育の展開状況の国際的傾向を考察し、高等職業教育の定義づけ及び比較を行うために必要な視点や項目を検討する。

## 2. 高等職業教育に関する先行研究からみる分析傾向

本章では先行研究を手がかりに、高等教育段階の職業教育に対する分析の傾向、とりわけ国際比較に取り上げられる項目を整理する。具体的には、日本国内外の組織及び研究者による先行研究という 4 つのカテゴリーに分けて整理することとする。

### 2. 1 日本の組織による先行研究の傾向

まず、日本国内では、日本の人材育成や職業教育をめぐる課題を解決するヒントを探るため、諸外国の職業教育の展開状況に着目し、高等教育段階のものを中心に整理した研究がみられる。そのなかでは、政府による先行研究や整理が多数ある。政府による先行研究として、文部科学省による委託研究として、後期中等教育後段階の教育体系と職業教育の位置づけに関するもの、そして独立行政法人労働政策研究・研修機構による一連の資料整理が挙げられる。

前者は後期中等教育後段階の職業教育の展開をヨーロッパ諸国と韓国の計5カ国を対象として整理し、職業教育の位置づけ及び管理主体、入学段階及びカリキュラム、職業資格の制度設計と質保証、そして入学者と修了者の職歴と就業状況に分けて情報整理を行った<sup>6</sup>。

後者にはアメリカ、イギリス、ドイツ、フランスの教育訓練制度を整理するもの<sup>7</sup>、そして「北欧の公共職業訓練制度と実態」を整理するもの<sup>8</sup>、「ベトナムにおける工学系学生の職業への移行と産学連携に関する調査研究」<sup>9</sup>がある。それぞれでは注目する教育段階やプログラムが異なるものの、分析対象の位置づけ、関連の制度設計、実際のプログラム構成という共通した整理項目が設定されている。

## 2. 2 日本の研究者による先行研究の傾向

次に、日本国内の研究者による先行研究は、専門職大学及び専門職短期大学の設置段階と、そこに至るまでの議論段階に盛んにみられるが、それらより前に、職業教育の機能が高等教育段階において現れた時期から、関連の研究が行われるようになった。

具体的にみると、専門職大学の設置に関する議論段階にもよく言及された専門学校を対象に、吉本はその拡大の背景にある世界諸国にみられる高等教育機関、とりわけ非大学セクターの多様化動向をあげた<sup>10</sup>。吉本は1970年代以降拡大した非大学セクターの特徴として、非伝統的な学習者を受け入れて、「現代的な職業領域の教育や訓練に焦点を当て」て、短期の課程または機関であるとまとめた<sup>11</sup>。

同様に、金子は高等教育段階及び高等教育機関の機能の多様化に注目して、高等教育機関を「大学型」と「非大学型」とし、後者は主として「職業教育トラックが中等教育から高等教育に伸長」してきたもので、「職業教育にそのミッションを限っている」と、非大学型の高等教育及びそれを提供する機関にある職業教育に関する特徴を整理している<sup>12</sup>。金子はまた、「大学型」と「非大学型」の高等教育機関の双方を含めた高等教育システムの展開プロセスを、大学型からなる単線のアメリカ型、大学型と非大学型が共存する複線のヨーロッパ型、そして非大学型の機関も同時に存在する単線の変形である東アジア型の3種類に分類している<sup>13</sup>。そして、非大学型の機関は「大学とは明確に区別」し、学士学位または学士未満の資格を授与できるものであると定義づけられている<sup>14</sup>。

このように、日本国内では高度な技能を有する人材の育成機関の可能性を検討する場合、そして高等教育システムの機能分化において非大学型のものを検討する場合、高等教育段階の職業教育に着目するという傾向がわかった。

## 2. 3 日本国外の国際組織による先行研究の傾向

前述したように、日本国外における高等職業教育の展開現状の関連研究では、ヨーロッパ諸国に着目するものが多数みられる。そうしたなかで、国際組織による整理及び議論が活発に行われてきた。

具体的には、ユネスコの職業技術教育訓練センター（UNEVOC）は2005年に、高等教育段階の職業教育に関するコンテンツの討論を行う国際セミナーを主催し、知識社会における高等教育のなかでの職業的内容への需要の拡大がもたらす課題及びその対策について、ドイツ、日本、

韓国、オーストラリア等の国の事例を通して検討した<sup>15</sup>。セミナーの主催者側の一人である Maclean は会議後、そこで議論された高等教育段階の職業化傾向を整理し、大学において職業的内容を取り入れることは、職業教育への社会的認識を向上させるとともに、高等教育と職業教育の緊密な関係性を構築させることの有効策であるとした<sup>16</sup>。

このような高等教育段階の職業的内容に関する需要は、ユネスコによる ISCED (International Standard Classification of Education、国際標準教育分類、以下 ISCED) の 2011 年改訂からも考察できる。すなわち、この分類は教育プログラムを国際的に比較する、または互換性を向上させることを図り、教育プログラムをそのコンテンツによって分類して、数字で表しているため、その分類基準となるコンテンツの指向性にはある程度の国際的な流れを反映すると考えられる。現行の ISCED は 2011 年に改訂されたものであり、その際には、第三段階、学士課程、修士課程、博士課程の教育プログラムがそれぞれレベル 5 からレベル 8 までのように分類された<sup>17</sup>。各レベルに分類される教育プログラムはさらに、そこで提供される教育コンテンツの指向性によって、*general* と *vocational*、または *academic* と *professional* に細分化される<sup>18</sup>。

こうした分類傾向から、一定または特定の職業への就職がその目標である職業教育が高等教育段階において、国際的に認識されるようになってきたことがうかがえる。また、前述したように、こうした高等教育段階の職業教育の展開について、OECD 及びユネスコではそれぞれ国際的展開状況の報告書を整理するようになった。例えば、OECD は 2022 年に、報告書 *Pathways To Professions* において、高等教育段階の職業教育の課程またはプログラムの存在及びその多様化状況を整理している<sup>19</sup>。具体的には、OECD 諸国において、短期の高等職業教育を提供するプログラム、機関の種類、関連分野の種類、そして修了年限と修了時に取得できる資格または学歴証明書の種類がまとめられ、その多様な状況が整理された<sup>20</sup>。加えて、OECD は 2023 年、第三段階の職業教育の役割を重要とし、OECD 諸国の高等教育段階の職業教育の制度設計、アクセス、財政的投入、教員等の教学組織の情報を整理し報告している<sup>21</sup>。一方で、同報告書では、そこで取り扱われるデータの課題として、諸国では必ずしも高等職業教育に対する理解、定義、そして提供しているデータの分類方法が一致しているわけではない点を明言している<sup>22</sup>。さらに、同報告書では、OECD 諸国に加え、ブラジル、中国、南アフリカ共和国等の 11 カ国<sup>23</sup>も含めているが、アジア諸国はそのデータ整理の主要ターゲットではない点は明らかである。

## 2. 4 日本国外の研究者による先行研究の傾向

日本国外の研究者による高等職業教育の国際比較に関する先行研究は、そうしたプログラムの類型化及び学士課程段階の部分に着目するものがある。

前者としては例えば、Halsey はヨーロッパ諸国の高等教育段階の拡大傾向及びその要因を整理したなかで、戦後のヨーロッパでは、高等教育段階の職業教育及びそれを提供するコースまたは機関の多様化がその最大の特徴であると指摘している<sup>24</sup>。加えて、Grubb と Lazerson は学校教育段階と高等教育段階における「職業教育主義 (vocationalism)」の流れ及びその特徴を整理し、職業教育主義の展開モデルを、アングロ・アメリカン、ドイツ語圏諸国、スカンジナビア諸国のように、3 モデルに分けている<sup>25</sup>。すなわち、英語圏のアングロ・アメリカンモデルでは「高等教育機関は分化され」、「多くの学歴・資格があるものの、その構造化は不十分」であ

り、ドイツ語圏諸国とデンマークのデュアルシステムでは「高等教育機関の質的差異を縮めよう」とアプローチしており、スカンジナビア諸国では職業教育の質が低く、「徒弟制はほとんどなく」、学歴及び資格の効果も不確かであるという<sup>26</sup>。同時に、Grubbらは、上記のモデル分けにおいてアジア諸国における展開を分析対象及びモデル化対象から除外しつつも、この点を課題としている。

後者の学士課程段階の高等職業教育を研究するものとして、Delplaceらがヨーロッパの17カ国を対象に、専門職高等教育（原語、Professional Higher Education）を分析するものが挙げられる<sup>27</sup>。Delplaceらは、専門職高等教育は定義されていないのに加えて、共通して認識される定義がつけられることは近いうちには考えにくいとし、このため、分析では専門職志向（profession-oriented）の機関または機構のように、分析対象を幅広く設定したのである。

このように、日本国内の先行研究では、諸外国の事例を参考にする点と、高等教育段階の人材育成の機能の変化に着目することの傾向が確認できた。前者としてはヨーロッパ諸国に注目するものが多く、分析対象国の職業教育が教育体系に占める位置づけ、カリキュラム設計等の制度的側面への注目がみられる。後者については、従来ある大学型の高等教育機関とは異なる特徴をもつ機関類型が現れた際、新型の非大学型の高等教育機関で提供される職業教育プログラムのミッションやそれに伴う学位授与に関する変化が注目されたといえよう。

日本国外の先行研究においても、高等職業教育の出現、普及という新たな変化に着目する傾向がみられる。とりわけ組織レベルでは21世紀以降の変化に注目し、各種機関が提供する教育コンテンツの指向性の細分化や、機関の種類及び修了時に取得できる資格と証明書が多様化状況が整理されている。

では、「教育の福音」として欧米諸国にみられ、東アジア地域にも関連改革が起きている高等職業教育は果たしてどのように展開しているのか。次章では、前述したユネスコ及びIAUによる世界高等教育データベース（World Higher Education Database [WHED]）の関連情報を手がかりに、高等職業教育の展開状況及び傾向を整理する。

### 3. 学士課程段階の高等職業教育の展開状況の量的及び地域的傾向

前章までは高等職業教育の展開状況に関する日本国内外の分析傾向を整理した。本章では、高等職業教育の定義及び分析視点の検討を行う前に、その関連機関またはプログラムの設置状況の整理を試みる。その際、世界諸国・地域では、短期の高等職業教育（レベル5相当）を主として提供する機関、そして学士課程段階の高等職業教育（レベル6相当）を主として提供する機関が存在するのかに着目する（第1節）。この整理で得られる量的状況をふまえて、そのほかのたちで提供される高等職業教育プログラムの有無、そして学士課程段階の高等職業教育の取得段階に係る学士学位の授与の有無に着目し、高等職業教育の展開の多様性を整理する（第2節）。その際、多様性ととも、地域的傾向がみられるのかも合わせて検討することとする。この点を考察するため、前述した職業教育主義の展開モデルに加えて、二宮による学校類型の分類方法、すなわち、ヨーロッパ大陸型、旧社会主義諸国型、英米諸国型という方法も援用する<sup>28</sup>。具体的には、OECD諸国等のヨーロッパ大陸諸国、そしてアジア諸国に加えて、旧社会主

義諸国のように、高等職業教育の展開状況の地域的、または歴史的影響の有無を考察することとする。

### 3. 1 高等職業教育の提供状況の分類方法

本節では、高等職業教育の関連機関の設置状況の整理を行う。整理する際には世界高等教育データベース (WHED) で提供されているデータを用いることとする。このデータベースでは、196 カ国または地域のデータが公開されており、各国・地域の教育システムのうち、高等教育機関の種類、就学前教育段階から高等教育段階までの教育システムの構造、高等教育の管理・関連機関、入学要件、質保証及び認証制度、学生生活、修了時に取得できる主要資格・学歴証明書に関する情報が公開されている<sup>29</sup>。

そのなかで、本稿の分析対象としては、高等教育機関の種類 (Types of Higher Education Institutions)、そして高等教育段階の構造 (Higher Education System - Structure, Stages of Higher Education) に関する説明、さらには修了時に取得できる主要資格・学歴証明書 (Credentials) に関する説明を主とした。各部分の説明において、高等職業教育に関する記述がある場合は、補足資料 (385 頁) の表 1 のカテゴリー 2 (レベル 6)、カテゴリー 3 (レベル 5)、カテゴリー 4 (その他の教育機関)、またはカテゴリー 5 (学位) に「○」印を付けることとした。

カテゴリー 2 (レベル 6) とカテゴリー 3 (レベル 5) については、前述した ISCED における教育コンテンツの細分化への重視において言及された、レベル 5 の vocational 及びレベル 6 の professional に関する内容に注目し、双方の用語に関する記述の有無に従って分類した。カテゴリー 4 (その他の教育機関) については、学士課程段階の高等職業教育の提供に着目して、関連プログラムに関する記述があるものの、具体的な機関名が明記されない場合、または高等教育機関の種類で言及されていない機関が記述される場合は、カテゴリー 4 に分類することとした。カテゴリー 5 (学位) については、学士課程段階の高等職業教育プログラムの修了時に取得できる主要資格・学歴証明書のうち、学士学位に関する記述がある場合は「○」印を付けることとした。そのうえで、高等教育機関の種類、高等教育段階の構造において、学士課程段階の職業教育に関する記述がないものの、修了時に取得できる主要資格・学歴証明書欄に職業に関する資格または学士学位に関する記述がある場合は、その国・地域の教育部のホームページ及び関連文献から当該国・地域の高等教育段階の職業教育の提供状況を確認することとした。

なお、表 1 からは登場していないが、第 2 章で言及された非大学型の高等教育機関またはプログラムのうち、職業教育の提供という役割または機能が言及されないものもある。このため、表 1 では大学型または非大学型の高等教育機関とその関連制度において、職業教育の提供を主とした目標である、または関連のプログラムを提供すると明記しているもののみ整理した。

### 3. 2 学士課程段階の高等職業教育の提供における量的状況

上記の分類方法で得られた表 1 (385 頁) では世界諸国の高等職業教育の提供状況が示されている。それらを量的に整理すると、次頁の表 2 が得られる。表 2 ではレベル 5 とレベル 6 の高等職業教育を提供する機関の有無に従って、高等職業教育の提供状況が 4 種類に分けられて、それぞれの量的状況が整理された。表 2 からは次の 3 点が読み取れる。

張：世界諸国の高等職業教育の展開に関する考察

まず、高等職業教育の提供状況を見ると、レベル5とレベル6のものはそれぞれ、約7割と約2割の国・地域で提供がなされていることがわかる。レベル5の高等職業教育プログラムが過半数の国・地域で提供されている点は、前述したISCEDの2011年改訂における職業的コンテツへの重視傾向を量的に証明していると考えられる。加えて、レベル6の学士課程段階の高等職業教育を提供する職業系大学は、約2割の国・地域に存在しているのに対して、8割の国・地域では職業系大学が設置されていない状況がわかった。

また、レベル5とレベル6の高等職業教育を同時に提供しており、異なる段階の高等職業教育の接続性がある程度保障されている国・地域(A.双方とも有り、15.43%)は2割弱に留めている。この点とレベル5の高等職業教育のみを提供する国・地域(B.短期のみ、53.72%)が半数を超えている点と合わせて考えると、レベル5のものは主として提供されている高等職業教育プログラムであるといえよう。

さらに、職業系大学を設置している約2割の国・地域のうち、レベル5の高等職業教育を提供せず、レベル6の高等職業教育のみを提供している国・地域(C.学士課程のみ、5.32%)も存在している。同時に、短期の高等教育段階の職業教育を提供しないととも、職業系大学も設置しない国・地域(D.双方とも無し、25.53%)は約3割存在している。

表2 世界諸国の高等職業教育の提供状況の量的状況

		レベル5				計	
		有		無			
レベル6	有	A.双方とも有り		C.学士課程のみ		39	20.74%
		29	15.43%	10	5.32%		
	無	B.短期のみ		D.双方とも無し		149	79.26%
		101	53.72%	48	25.53%		
計	130	69.15%	58	30.85%	188	100.00%	

出典：表1をもとに筆者作成。

このような量的提供状況のほか、高等職業教育の提供にはどのような多様性や地域的傾向があるのかについて、次節以降で確認しよう。

### 3. 3 高等職業教育の提供における多様性・地域性の状況

本節では、補足資料の表1をもとに、学士課程段階の高等職業教育の展開状況における多様性、地域的傾向について考察する。表1から、学士課程段階の高等職業教育を提供している国・地域を取り出すと、表3が得られる。そのなかで、本稿ではこれまで注目されてこなかったアジア諸国の地域的傾向を検討するため、OECD諸国、アジア地域諸国及び旧社会主義諸国の国・地域という分類で整理することとした。

表3 各国における学士課程段階の高等職業教育の提供方法・量的状況

国・地域 <sup>1)</sup>	A. <sup>2)</sup>	B.	C.	D.	その他	学位	機関名
OECD 加盟国 (37)	24%	57%	0%	19%	5% Apprentice -ship Center	24% Degree Professional Bachelor's Degrees Professional Degrees Professional Baccalaureate Professional Qualification License	University College University of Applied Sciences Technical University University Institute of Technology Polytechnic/ Professional Institute University of Science and Technology
アジア 諸国 (19)	16%	68%	11%	5%	16% Apprentice -ship Center	21% Degree Professional Bachelor's Degree Professional Degree	Institutes of Technology University of Applied Sciences Universities of Technology Professional and Vocational Universities
旧社会 主義諸国 (14)	14%	57%	7%	21%	7% 不明	21% Degree Professional Bachelor's Degree License	Higher Professional Education College of Technology

出典：表1をもとに筆者作成。

注1：各国・地域欄では、当該区分の国・地域の数量を記載している。また、各国・地域の分類は以下の文献、ウェブサイト に 依 拠 して いる。 経 済 産 業 省 「OECD（経済協力開発機構）」2024年（[https://www.meti.go.jp/policy/trade\\_policy/oecd/index.html](https://www.meti.go.jp/policy/trade_policy/oecd/index.html)）、外務省「地域別インデックス（アジア）」2024年（<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/asia.html>）、経済企画庁「第2-2-5表 ソ連の各共和国の概要」『平成3年 年次世界経済白書 本編』（<https://www5.cao.go.jp/keizai3/sekaikeizaiwp/wp-we91-1/wp-we91bun-2-2-5h.html>）。

注2：A.B.C.D.は表2で整理された「A.双方とも有り」、「B.短期のみ」、「C.学士課程のみ」、「D.双方とも無し」の高等職業教育の提供状況4類型を表している。

### OECD 諸国における展開傾向

まず、表3では計37のOECD諸国の学士課程段階の高等職業教育の提供状況が整理されている。そのなかでは、B.短期のみのかたちで職業教育を提供する高等教育機関が最も多くみられる。この点と関連して、表1と合わせてみると、職業系機関の名称に使用される用語には学士課程段階と短期課程の間に異なる傾向がみられる。すなわち、職業系大学はすべてドイツ語圏及び北欧諸国にあり、その名称としては University of Applied Science という訳語を多く使用しているが、Profession、Technology、Polytechnics のように、多様な用語もその名称に使用されている。この点から、職業系大学という新設の高等教育機関については一定程度の共通性が認識され、名称を通じた担保がなされていると同時に、高等教育システムにおける位置づけまたはその制度設計における国家間の相違点があることが読み取れる。さらに、これらの用語は異なる職業の種類や分野に対応しているため、高等教育段階の職業教育分野の対象とされる職業の種類も国によって異なると考えられる。加えて、約24%の国家では職業教育分野の学士学位を設計しており、その授与及び取得のためのプログラムの提供を通して学士課程段階の高等職業教育を提供する方法が確認できた。

### アジア諸国における展開傾向

いくつかのOECD諸国も含めたアジア地域諸国では、OECD諸国と同様、B.短期のみ的高等職業教育の提供方法が最も普遍的にとられている。一方で、学士課程段階の高等職業教育の提供もみられ、その展開状況については、以下の3点が読み取れる。

まず、学士課程段階の職業教育について、アジア諸国では、職業系大学（A.双方とも有り、C.学士課程のみ）の設置、学士学位の設計、そしてその他の機関による提供の順で提供されている。次に、日本と中国は職業系大学を設立し、OECD諸国と比べるとより多様な用語を名称に使用している点に特徴がある。日本は専門職大学<sup>30</sup>の英語名称に Profession と Vocation の双方を用いており、就職指向で専門職を養成する機関としての位置づけ及び役割を表そうとしている。さらに、学士課程段階の高等職業教育を提供するその他の高等教育機関には多様性がみられる。Apprenticeship や Center のかたちで高等職業教育が提供されている点から、既存の教育機関または限られた教育リソースを活用して、高等職業教育の提供を図る方法がとられているといえよう。

### 旧社会主義諸国における展開傾向

旧社会主義諸国として、表3では計14カ国の状況が整理されている。そのなかでは、旧社会主義諸国では職業系の大学を通して学士課程段階を提供する事例が多くみられる。さらにはB.短期のみの提供に次いで、D.双方とも無し割合が高い点に特徴があろう。後者は職業系大学の設置率（A.双方とも有りとC.学士課程のみ）と同様であり、職業教育に関する考え方が分かれている傾向が読み取れる。また、職業系大学の名称に Technology が使用されている点から、それまでの工学系教育機関での蓄積が活かされていることが考えられるとともに、現在提供されている学士課程段階の職業教育のプログラムも工学分野のものが多い点が推測できる。

このように、本章では学士課程段階の高等職業教育の提供状況を中心に、世界諸国、そして OECD 諸国、アジア地域諸国と旧社会主義諸国に分けて整理して、具体的な提供機関または提供方法に細分化した展開状況及び傾向を量的に検討した。

その結果、3種類の国・地域では多様な提供機関及び方法がみられ、そこで用いられる名称にも Profession と Vocation、さらには Industry、Technology のように多様な用語が使用されており、対象となる職業の種類や範囲が幅広く想定されていることがわかった。そして、量的な傾向をみると、3種類の国・地域で異なる提供機関または方法がとられているのである。すなわち、短期の高等職業教育機関が多数である点が共通している一方で、アジア諸国では学士課程段階の職業系大学が約3割の国・地域において設置されており、旧社会主義諸国では高等職業教育の提供、または学士課程段階の機関の設置をめぐる、異なる考えが存在している傾向が明らかになった。

#### 4. 考察・おわりに

前章までは高等教育段階の職業教育の展開状況に関する先行研究での分析傾向、そして世界諸国での展開状況の量的及び地域傾向を整理した。こうした作業を通して、高等職業教育を定義づけるうえで、重要な用語及び項目の選定に関しては次の点を検討する必要があることがわかった。

第一に、高等職業教育プログラムの修了証明書または学位授与の国際的通用性を検討する必要がある。表1及び第3章から確認できるように、学士課程段階の高等職業教育プログラムの提供においては多様なかたちが見られ、独立して設立されている高等教育機関で提供されているものと、既存の高等教育機関内で提供されているプログラム、さらには提供機関が明確になっていないものの、関連学位が設計されているものがある。このような多様な方法で提供されている高等職業教育プログラムは同レベルのものであるかを判断するためには、修了時に授与される各種証明書をを用いることが有効であるため、高等職業教育の定義においては出口段階への着目が重要である。

第二に、第一点と関連して、高等職業教育のゴールにある職業または産業の種類、レベルを検討する必要がある。この点は第2章で確認した ISCED における教育プログラムの分類での Vocation と Profession の用語の定義づけの不在のように、短期のプログラムが対応する Vocation、学士課程段階のプログラムが対応する Profession においては不確実な概念が用いられているのである。しかし一方で、第3章で確認した職業系高等教育機関の名称において、学士課程段階の職業系大学の英語名称にも Vocation が使用されるケースもある点から、ISCED による分類方法は必ずしも実態と一致しているわけではない点が明白である。このため、社会的、または国際的通用度を担保する観点からは、高等職業教育プログラムで想定されている育成人材が就く職業の種類とレベルを検討する必要性が挙げられる。

第三に、高等職業教育を職業教育の高度化の結果として捉えるか、それとも高等教育の職業化の結果として捉えるかを検討する必要がある。すなわち、第3章で確認したように、職業系高等教育機関、とりわけ職業系大学の設置が約3割の国・地域にみられる。その際、前述した国際セミナーでも挙げられたように、高等職業教育を提供する機関の社会的認知度がその課題

張：世界諸国の高等職業教育の展開に関する考察

であるため、高等職業教育を提供する機関の前身となる機関またはプログラムの社会的認知度が職業系大学の展開に影響を及ぼすと考えられる。

このように、本稿ではアジア諸国、旧社会主義諸国も取り入れた高等職業教育の展開状況の量的及び地域傾向を整理して、その定義づけを行うための重要な用語及び項目の選定に関する初歩的な検討を行った。その結果、高等職業教育は多様な機関または方法で提供されているなかで、そこでは多様な用語が名称に使用されており、短期の高等職業教育機関が中心である点が共通しているものの、アジア諸国では学士課程段階の機関が多数設置され、旧社会主義諸国のカテゴリーではその設置をめぐる異なる思惑がある点が特徴としてみられた。このような多様性のある高等職業教育の定義づけを行う際には出口段階の修了証明書及びゴールである対応する職業の種類とレベル、さらには高等教育システムにおける位置づけを考慮する必要性が改めて検討できた。

本稿で明らかになった高等職業教育の多様な展開状況は、高等職業教育の定義づけのみならず、その提供に係る国際的互換性を検討する際の手がかりにもなっているといえよう。同時に、本稿では各国・地域の高等教育システムにおける高等職業教育の提供状況の整理及びその類型化を試みたが、その際に使用されたデータはユネスコによるある程度の統一が図られた状態で公開されたため、各国・地域の実態とは異なる可能性も挙げられる。この点は本稿の限界を示すものであり、より実態に着眼した確認及び分析作業が今後の作業であることを明示しているものである。

補足資料 表1 世界諸国における高等職業教育の提供状況（2024年8月）

1. コード 1)	2. レベル6 <sup>2)</sup>	3. レベル5 <sup>2)</sup>	4. その他の機関・方法 <sup>3)</sup>	5. 学位
AD	—	—	—	—
AE	—	○	—	—
AF	—	○	—	—
AG	NA			
AL	—	○	○ Academy Professional College	—
AM	—	—	△ Higher Professional Education	—

<b>AO</b>	○ Technical University	○	—	—
<b>AR</b>	—	—	△ Institute	—
Aruba	—	—	—	—
<b>AT</b>	○ UAS <sup>4)</sup>	○	—	—
<b>AU</b>	—	○	△ 不明	○ Professional Degrees
<b>AZ</b>	—	○	—	—
<b>BA</b>	—	—	—	—
<b>BB</b>	—	○	—	—
<b>BD</b>	—	○	—	○ Professional Bachelor's Degree
<b>BE</b>	○ University College	○	—	—
-French Community	○ University Colleges	○	—	—
-German-speaking Community	○ Hochschule	—	—	—
<b>BF</b>	○ Polytechnic University	○	—	—
<b>BG</b>	—	—	—	○ Professional Bachelor In...
<b>BH</b>	—	○	—	—
<b>BI</b>	—	—	—	—
<b>BJ</b>	—	○	—	—
<b>BN</b>	—	○	—	—
<b>BO</b>	—	○	—	—
<b>BR</b>	—	○	○ School	—
<b>BS</b>	—	○	—	—
<b>BT</b>	—	○	—	○ Professional Degree
<b>BW</b>	—	—	—	—
<b>BY</b>	—	○	△ 不明	—
<b>BZ</b>	—	○	—	—

張：世界諸国の高等職業教育の展開に関する考察

<b>CA</b>	—	○	○ Apprentice -Ship	○ First Professional Degree <sup>5)</sup>
<b>CD</b>	—	○	—	—
<b>CF</b>	—	○	—	—
<b>CG</b>	—	○	—	—
<b>CH</b>	○ UAS	○	—	—
<b>CI</b>	—	○	—	—
<b>CK</b>	NA			
<b>CL</b>	—	○	○ Technical Training Center	—
<b>CM</b>	—	○	—	—
<b>CN</b>	○ <sup>6)</sup>	○	—	—
<b>CO</b>	○ University Faculty/ Technological School	○	—	—
<b>CR</b>	—	○	—	—
<b>CU</b>	—	○	—	—
<b>CV</b>	—	○	—	—
<b>CY</b>	—	○	—	—
<b>CZ</b>	○	○	—	○ Professional Bachelor's Degrees
Curaçao	—	—	—	—
<b>DE</b>	○ UAS	○	—	—
<b>DJ</b>	○ University of Technology	—	—	—
<b>DK</b>	○ University College	○	△ Business Academy	○ Degree
<b>DM</b>	NA			
<b>DO</b>	○ University	○	—	—
<b>DZ</b>	—	○	—	—
<b>EC</b>	○ University and Polytechnics	○	—	—
<b>EE</b>	○ Professional Higher Education Institution	—	○ Program	—

<b>EG</b>	—	○	—	—
<b>ER</b>	—	○	—	—
Eswatini	—	—	○ Program	—
<b>ES</b>	○ Polytechnic University/ University College	○	—	—
<b>ET</b>	—	○	—	—
Faroe Islands	—	○	—	○ Professional Bachelor
<b>FI</b>	○ UAS	—	—	—
<b>FJ</b>	—	○	—	—
<b>FM</b>	NA			
<b>FR</b>	○ University Institute of Technology	○	—	—
<b>GA</b>	—	—	—	—
<b>GB</b>	○ College of Technology	○	—	—
<b>GD</b>	—	—	—	—
<b>GE</b>	○ College	—	—	○ Professional Bachelor
<b>GH</b>	—	○	—	—
<b>GM</b>	—	○	—	—
<b>GN</b>	—	○	—	—
<b>GQ</b>	—	—	△ Training	—
<b>GR</b>	○ Technological Educational Institution	—	—	—
<b>GT</b>	—	—	—	—
<b>GW</b>	—	—	—	—
<b>GY</b>	—	○	○ Center School	—
<b>HN</b>	—	○	—	—
<b>HR</b>	○	○	—	○ Professional Baccalaureate
<b>HT</b>	—	○	—	—
<b>HU</b>	—	○	—	—

張：世界諸国の高等職業教育の展開に関する考察

Holy see	—	—	—	—
<b>ID</b>	○ University Institute Polytechnic	○	—	○ Professional Degree
<b>IE</b>	○ Institutes of Technology	○	—	—
<b>IL</b>	—	—	—	—
<b>IN</b>	—	○	—	—
<b>IQ</b>	—	○	—	—
<b>IR</b>	—	△ Technical and Vocational Training Universities	—	—
<b>IS</b>	—	—	—	—
<b>IT</b>	—	○	—	—
<b>JM</b>	—	—	—	—
Japan	○ Professional and Vocational Universities	○	—	—
<b>JO</b>	—	○	—	—
<b>KE</b>	—	○	—	—
<b>KG</b>	—	—	—	—
<b>KH</b>	—	○	—	—
<b>KI</b>	NA			
<b>KM</b>	—	○	—	—
<b>KN</b>	—	○	—	○ Degree
<b>KP</b>	—	○	—	—
<b>KR</b>	—	○	—	—
<b>KW</b>	—	○	○ Center	—
<b>KZ</b>	—	○	—	—
<b>LA</b>	—	○	—	—
<b>LB</b>	—	○	—	—
<b>LC</b>	NA			
<b>LI</b>	○ UAS	—	—	—
<b>LK</b>	—	○	—	—
<b>LR</b>	—	—	—	—
<b>LS</b>	—	○	—	—

<b>LT</b>	—	○	—	○ Professional Bachelor's Degree
<b>LU</b>	—	—	—	—
<b>LV</b>	—	○	—	—
<b>LY</b>	○ Technical Faculties	○	—	○ Degree
<b>MA</b>	—	○	—	○ Degree
<b>MC</b>	—	○	—	—
<b>MD</b>	—	○	—	—
<b>ME</b>	—	○	—	—
<b>MG</b>	—	○	—	—
<b>MH</b>	NA			
<b>MK</b>	—	—	—	○ Degree
<b>ML</b>	—	—	—	—
<b>MM</b>	—	—	—	—
<b>MN</b>	—	○	—	○ Degree
<b>MR</b>	—	○	—	—
<b>MT</b>	—	○	○ Apprentice -Ship	—
<b>MU</b>	—	○	—	—
<b>MV</b>	—	—	—	—
<b>MW</b>	—	○	—	—
<b>MX</b>	○ Polytechnic University/ Technological University	○	—	—
<b>MY</b>	○ Polytechnic	○	—	○ Degree
<b>MZ</b>	—	○	—	—
<b>NA</b>	—	—	○ Center	○ Degree
<b>NE</b>	—	○	—	—
<b>NG</b>	—	○	—	○ Degree
<b>NI</b>	—	—	○ Center	—
<b>NL</b>	○ UAS	—	○	○ Degree
<b>NO</b>	○ UAS	—	○ Apprentice -Ship	○ Degree
<b>NP</b>	—	—	—	—

張：世界諸国の高等職業教育の展開に関する考察

<b>NR</b>	NA			
<b>NU</b>	NA			
<b>NZ</b>	○ Institutes of Technology And Polytechnics	○	—	○ Degree
<b>OM</b>	—	○	—	—
<b>PA</b>	—	—	—	—
<b>PE</b>	—	○	—	—
<b>PG</b>	—	○	—	—
<b>PH</b>	—	○	—	○ Degree
<b>PK</b>	—	○	—	—
<b>PL</b>	○ Technical University	○	—	—
<b>PS</b>	○ University College	○	—	—
<b>PT</b>	—	○	—	—
<b>PW</b>	NA			
<b>PY</b>	—	○	—	—
<b>QA</b>	—	—	—	—
<b>RO</b>	—	—	—	—
<b>RS</b>	○ UAS	○	—	—
<b>RU</b>	—	○	○ Program	—
<b>RW</b>	—	—	—	—
<b>SA</b>	—	○	○ Program	—
<b>SB</b>	—	—	—	—
<b>SC</b>	—	○	○ Apprenticeship	—
<b>SD</b>	—	○	—	—
<b>SE</b>	—	○	—	△ Professional Qualification
<b>SG</b>	—	○	—	—
<b>SI</b>	○ Professional College	—	—	—
<b>SK</b>	—	—	—	—
<b>SL</b>	—	○	—	—
<b>SM</b>	—	—	—	—
<b>SN</b>	—	○	—	—

<b>SO</b>	—	○	—	—
<b>SR</b>	—	○	—	—
<b>SS</b>	—	—	—	—
<b>ST</b>	—	—	—	—
<b>SV</b>	—	○	—	—
<b>SY</b>	—	○	—	—
<b>SZ</b>	—	○	—	—
<b>TD</b>	—	○	—	—
<b>TG</b>	○	○	—	○ License
<b>TH</b>	○ Universities of Technology	—	—	—
<b>TJ</b>	—	—	—	—
<b>TL</b>	—	○	—	—
<b>TM</b>	—	—	—	—
<b>TN</b>	—	○	—	○ License Degree
<b>TO</b>	—	—	—	—
<b>TR</b>	—	—	○ School	—
<b>TT</b>	—	—	—	—
<b>TV</b>	NA			
<b>TZ</b>	—	○	—	—
<b>UA</b>	—	—	—	—
<b>UG</b>	—	○	—	—
<b>US</b>	—	○	—	—
<b>UY</b>	—	○	—	—
<b>UZ</b>	—	—	—	—
<b>VA</b>	NA			
<b>VC</b>	NA			
<b>VE</b>	—	○	—	○ License
<b>VN</b>	—	○	—	—
<b>VU</b>	NA			
<b>WS</b>	—	—	—	—
<b>YE</b>	—	—	—	—
<b>ZA</b>	○ University of Technology	○	—	○ Professional Bachelor
<b>ZM</b>	—	—	—	—

張：世界諸国の高等職業教育の展開に関する考察

ZW	○ Institute of Technology	○	—	—
----	---------------------------	---	---	---

出典：UNESCO・IAU, World Higher Education Database (WHED, <https://www.whed.net/home.php>)で公開されているデータをもとに筆者作成。また、個別の国・地域の情報を確認するため、次のウェブサイト、資料も参考した。なお、これらのウェブサイトへの最終アクセスはすべて2024年9月2日である。

- ・ アイルランド：Government of Ireland. *Technological Universities Act 2018*, 2018 (<https://hea.ie/assets/uploads/2017/04/TU-ACT-2018.pdf>).
- ・ エルサルバドル共和国：United States Agency for International Development (USAID). *EL SALVADOR: HIGHER EDUCATION ASSESSMENT AND RECOMMENDATIONS*, Final Report. 2012 ([https://pdf.usaid.gov/pdf\\_docs/PA00HX9H.pdf](https://pdf.usaid.gov/pdf_docs/PA00HX9H.pdf)).
- ・ オーストラリア連邦：例えば Swinburne University of Technology による Professional Degree がある。  
出典：Swinburne University of Technology. Professional Degrees Benefits of doing a Professional Degree at Swinburne (<https://www.swinburne.edu.au/life-at-swinburne/work-integrated-learning/professional-degrees/>).
- ・ カーボベルデ共和国：Agência Reguladora do Ensino Superior. *The Education System in Cape Verde* (<https://www.ares.cv/assets/documentos/TheEducationSysteminCape%20Verde.pdf>).
- ・ キルギス共和国：European Commission. *Overview of the Higher Education System. Kyrgyzstan* (<https://erasmusplus.kg/en/wp-content/uploads/Overview.pdf>).
- ・ スイス：内閣府『平成 26 年度委託調査教育と職業・雇用の連結に係る仕組みに関する国際比較についての調査研究』WIP ジャパン株式会社、2015 年、State Secretariat for Education. Research and Innovation SERI. *Higher Education and Research in Switzerland*, 2024, (<https://www.sbf.admin.ch/sbfi/en/home/services/publications/data-base-publications/h-c-and-r-ch-2023.html>).
- ・ セネガル共和国：文部科学省「世界の学校体系（ウェブサイト版）セネガル共和国」([https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396871\\_012.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396871_012.pdf)).
- ・ 日本：専門職大学の英訳は文部科学省が作成した紹介パンフレットによるものである。  
出典：文部科学省高等教育局専門教育課専門職大学院室「専門職大学・専門職短期大学について（パンフレット）」2023 年 ([https://www.mext.go.jp/content/20230324-mxt\\_senmon01-100001394\\_01.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20230324-mxt_senmon01-100001394_01.pdf)).
- ・ パナマ共和国：American Association of Collegiate Registrars and Admissions Officers. Panama Overview (<https://www.aacrao.org/edge/country/panama>).
- ・ ブルネイ・ダルサラーム：Universiti Teknologi Brunei の英語名称はブルネイ・ダルサラーム国教育部及び同大学のホームページによるものである。  
出典：Universiti Teknologi Brunei. About UTB(<https://www.utb.edu.bn/the-university/about-utb/>). Ministry of Education, Brunei Darussalam. Higher Education Institution in Brunei Darussalam

(<https://www.moe.gov.bn/SitePages/Higher%20Education.aspx>).

- ・ 南スーダン共和国：文部科学省「世界の学校体系（ウェブサイト版）スーダン共和国」（[https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396871\\_011.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2017/10/02/1396871_011.pdf)）。

注：

- 1) 国・地域のコード（カテゴリー1）及び順番は主として法務省による「国名コード表」によるものである。「国名コード表」にはあるものの、高等教育情報データベースではその国・地域の情報が提供されていないものの関連情報は「NA」とした。一方、データベースにはあるが、「国名コード表」にはない国・地域については、その国・地域のコードではなく、国・地域名称を記載することとした。

出典：法務省「国名コード表」

([https://www.moj.go.jp/MINJI/common\\_igonsyo/pdf/001321964.pdf](https://www.moj.go.jp/MINJI/common_igonsyo/pdf/001321964.pdf))。

- 2) 高等職業教育機関の種類は2011のISCEDによるものである。Level 5は短期のものを指しており、Level 6は学士課程段階相当のものを示している。
- 3) 職業系ではない大学またはその他の教育機関において短期の高等職業教育プログラムが提供されている場合は「△」としている。
- 4) Level 6の高等職業教育を提供する機関のうち、University of Applied Sciences または Universities of Applied Science を UAS と略して表記している。
- 5) カナダの関連学位「First Professional Degree」は Alberta においてのみ提供されるものである。
- 6) 中国の学士課程段階の高等職業教育を提供する機関の名称は、地域によって異なる。具体的には、Hong Kong SAR では Polytechnic University、Macao SAR では、Polytechnic/Professional Institute、Taiwan では University of Science and Technology と呼称されている。

- ・ 本研究は、JSPS 科研費 24K16601 の助成を受けたものである。

注・参考文献（ウェブサイトはすべて2024年9月2日最終アクセス）

- <sup>1</sup> Schugurensky, D. "Higher Education in the Era of Globalization: Toward a Heteronomous Model?" in Robert F. Arnove, Carlos Alberto Torres, Stephen Franz, *Comparative Education: The Dialectic of the Global and the Local*. Rowman & Littlefield Publishers, INC USA, 2012, p. 302.
- <sup>2</sup> 文部科学省高等教育局専門教育課専門職大学院室「専門職大学・専門職短期大学・専門職学科」（[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/senmon/index\\_pc.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/senmon/index_pc.htm)）。
- <sup>3</sup> 張潔麗『中国高等職業教育の展開—その制度的・教育的・文化的要因から』東信堂、2024年

に詳しい。

- <sup>4</sup> W.N. グラブ・M. ラザーソン「レトリックと実践のグローバル化—『教育の福音』と職業教育主義」ヒュー・ローダー&フィリップ・ブラウン&ジョアンヌ・ディラポー&A.H. ハルゼー編、広田照幸・吉田文・本田由紀編訳『グローバル化・社会変動と教育 1 市場と労働の教育社会学』東京大学出版会、2012年、129-151頁。OECD. *EDUCATION AT A GLANCE 2023, 2024*([https://www.oecd-ilibrary.org/education/education-at-a-glance-2023\\_e13bef63-en](https://www.oecd-ilibrary.org/education/education-at-a-glance-2023_e13bef63-en)).
- <sup>5</sup> OECD, *Ibid.*
- <sup>6</sup> 平成23年度 文部科学省委託「平成23年度生涯学習施策に関する調査研究 諸外国における後期中等教育後の教育機関における職業教育の現状に関する調査研究 報告書」2012年 ([https://www.mext.go.jp/component/a\\_menu/education/detail/\\_icsFiles/fieldfile/2012/09/21/1323725\\_1\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/fieldfile/2012/09/21/1323725_1_1.pdf)).
- <sup>7</sup> 独立行政法人労働政策研究・研修機構『諸外国における教育訓練制度—アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス—』資料シリーズ No.194、2017年 (<https://www.jil.go.jp/institute/siryoy/2017/194.html>).
- <sup>8</sup> 独立行政法人労働政策研究・研修機構『北欧の公共職業訓練制度と実態』資料シリーズ No.176、2016年 (<https://www.jil.go.jp/institute/siryoy/2016/176.html>).
- <sup>9</sup> 独立行政法人労働政策研究・研修機構『ベトナムにおける工学系学生の職業への移行と産学連携に関する調査研究』資料シリーズ No.127、2013年 (<https://www.jil.go.jp/institute/siryoy/2013/127.html>).
- <sup>10</sup> 吉本圭一「専門学校的发展と高等教育の多様化」日本高等教育学会『高等教育研究』、第6巻、2003年、83-103頁 ([https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac\\_download\\_md/12426/%E9%AB%98%E7%AD%89%E6%95%99%E8%82%B2%E7%A0%94%E7%A9%B6\\_6.pdf](https://catalog.lib.kyushu-u.ac.jp/opac_download_md/12426/%E9%AB%98%E7%AD%89%E6%95%99%E8%82%B2%E7%A0%94%E7%A9%B6_6.pdf)).
- <sup>11</sup> 同上。
- <sup>12</sup> 金子元久「第1章 高等教育システムと職業教育—7か国概観」独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構『高等教育における職業教育と学位—アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・中国・韓国・日本の7か国比較研究報告』2016年、3-5頁 (<https://niadqe.jp/wp/wp-content/uploads/2018/02/c002-1608-syokugyo.pdf>).
- <sup>13</sup> 同上。
- <sup>14</sup> 同上。
- <sup>15</sup> UNESCO-UNEVOC International Centre for Technical and Vocational Education and Training in *Vocational Content in Mass Higher Education? Responding to the Challenges of the Labour Market and the Workplace*. Seminar Report, Bonn, Germany, 2005 ([https://unevoc.unesco.org/fileadmin/user\\_upload/pubs/Report\\_CEPES.pdf](https://unevoc.unesco.org/fileadmin/user_upload/pubs/Report_CEPES.pdf)).
- <sup>16</sup> Rupert Maclean. *Vocational and Higher Education: Issues, Concerns and Prospects*. CIMQUSEF, 2007 (<https://www.semanticscholar.org/paper/Vocational-and-Higher-Education%3A-Issues%2C-Concerns-Maclean/daf25624ddb2a330a4ad49293db265f3e2218fe1>).

- <sup>17</sup> UNESCO Institute for Statistics. SECTION 10. Correspondence between ISCED 2011 and ISCED 1997 levels in *International Standard Classification of Education ISCED 2011*. 2012, p. 66 (<https://uis.unesco.org/sites/default/files/documents/international-standard-classification-of-education-isced-2011-en.pdf>).
- <sup>18</sup> UNESCO Institute for Statistics. SECTION 5. Cross-classification variables, *Ibid*, p. 14.
- <sup>19</sup> OECD. *Pathways to Profession: Understanding Higher Vocational and Professional Tertiary Education Systems*. OECD Reviews of Vocational Education and Training, OECD Publishing, Paris 2022 ([https://www.oecd.org/en/publications/pathways-to-professions\\_a81152f4-en.html](https://www.oecd.org/en/publications/pathways-to-professions_a81152f4-en.html)).
- <sup>20</sup> OECD, *Ibid*, pp. 22-23.
- <sup>21</sup> OECD, op. cit., 2024.
- <sup>22</sup> *Ibid*.
- <sup>23</sup> 具体的には、アルゼンチン、ブルガリア、クロアチア共和国、中華人民共和国、インド、インドネシア、ペルー、ルーマニア、サウジアラビア、南アフリカ共和国及びブラジルである。  
出典：OECD, *Ibid*, pp. 14.
- <sup>24</sup> A.H.ハルゼー「5 ヨーロッパの大学」ヒュー・ローダー&フィリップ・ブラウン&ジョアンヌ・ディラボー&A.H.ハルゼー編、広田照幸・吉田文・本田由紀編訳、前掲書、2012年、199-219頁。
- <sup>25</sup> W.N.グラブ・M.ラザーソン「レトリックと実践のグローバル化—『教育の福音』と職業教育主義」同上書、129-151頁。
- <sup>26</sup> 同上。
- <sup>27</sup> Stefan Delplace. 2. Foreword in Anthony F. Camilleri, Stefan Delplace, Marek Frankowicz, Raimund Hudak, *PROFILE OF PROFESSIONAL HIGHER EDUCATION IN EUROPE*. EURASHE: Knowledge Innovation Centre (Malta), 2013 (<https://www.knowledgeinnovation.eu/wp-content/uploads/2015/04/Profile-of-Professional-Higher-Education-in-Europe-FINAL.pdf>).
- <sup>28</sup> 二宮皓「1. 世界の学校の三類型」二宮皓編著『世界の学校—教育制度から日常の学校風景まで』学事出版、2006年、8-11頁。
- <sup>29</sup> World Higher Education Database. About (<https://www.whed.net/About.html>).
- <sup>30</sup> 専門職大学の英訳は文部科学省が作成した紹介パンフレットによるものである。  
出典：文部科学省高等教育局専門教育課専門職大学院室「専門職大学・専門職短期大学について（パンフレット）」2023年 ([https://www.mext.go.jp/content/20230324-mxt\\_senmon01-100001394\\_01.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20230324-mxt_senmon01-100001394_01.pdf))。

(グローバル教育展開オフィス 助教)

(受稿 2024年9月2日、改稿 2025年1月6日、受理 2025年1月10日)

## 世界諸国の高等職業教育の展開に関する考察

—学士課程段階の高等職業教育の提供状況の整理を試みて—

張 潔麗

本稿ではアジア地域を視野に入れた世界諸国の高等職業教育の展開状況を明らかにするため、従来ある高等職業教育の分析における視点及び傾向、そして 2024 年現在の高等職業教育プログラムの展開状況の量的及び地域的傾向を整理して、その定義づけを行うための重要な用語及び項目の選定に関する初歩的な検討を行った。その結果、高等職業教育は多様な機関または方法で提供されているなかで、そこでは多様な用語が名称に使用されており、短期の高等職業教育機関が中心である点が共通しているものの、アジア諸国では学士課程段階の機関が多数設置され、旧社会主義諸国のカテゴリーではその設置をめぐる異なる思惑がある点が特徴としてみられた。このような多様性ある高等職業教育の定義づけを行う際には出口段階の修了証明書及びゴールである対応する職業の種類とレベル、さらには高等教育システムにおける位置づけを考慮する必要性が改めて検討できた。本稿で高等職業教育の提供状況の類型化を試みたものの、その実態の確認を通じた類型の精緻化を今後の課題としたい。

### **A Study of the Actual State of Development of Higher Vocational Education in the World: an Attempt to Organise the Provision of Higher Vocational Education at the Bachelor's Level**

ZHANG Jieli

This paper summarized the development of higher vocational education in countries around the world, including Asia, and identified trends. Existing trends in higher vocational education as well as the methods and regional trends of higher vocational education program delivery as of 2024 were analyzed. The results showed that while higher vocational education is provided through a variety of institutions and methods, many different terms are used to name them, and the common feature is that they are mainly short-term higher vocational education institutions, in Asian countries there are many institutions at the bachelor's degree level, and in the category of former socialist countries there are different ideas surrounding the establishment of such institutions. Although this paper attempted to categorize the state of provision of higher vocational education, further refinement of categorization through confirmation of the actual situation remains to be addressed in future studies.

**キーワード：**高等職業教育、学士課程段階、専門職高等教育、高等教育、国際比較

**Keywords:** Higher vocational education, Bachelor, Professional higher education, Higher education, International comparison